

○○○○Web サイト

Web アクセシビリティガイドライン（作業基準書）

改版履歴

バージョン	日付	更新内容	発行者	承認者
0.1	2016/4/1	初版		

目次

改版履歴	2
目次	3
はじめに	5
1. 基本方針	5
2. 適用範囲	5
達成基準別対応方法	6
1.1.1 非テキストコンテンツの達成基準	6
1.2.1 音声だけ及び映像だけ（収録済み）の達成基準	13
1.2.2 キャプション（収録済み）の達成基準	13
1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）の達成基準	13
1.2.4 キャプション（ライブ）の達成基準	15
1.2.5 音声解説（収録済み）の達成基準	17
1.3.2 意味のある順序の達成基準	25
1.3.3 感覚的な特徴の達成基準	29
1.4.1 色の使用の達成基準	31
1.4.2 音声の制御の達成基準	33
1.4.3 コントラスト（最低限レベル）の達成基準	34
1.4.4 テキストのサイズ変更の達成基準	36
1.4.5 文字画像の達成基準	36
2.1.1 キーボードの達成基準	38
2.1.2 キーボードトラップなしの達成基準	41
2.2.1 タイミング調整可能の達成基準	44
2.2.2 一時停止、停止及び非表示の達成基準	46
2.3.1 3回のせん（閃）光、又はしきい（閾）値以下の達成基準	50
2.4.1 ブロックスキップの達成基準	51
2.4.2 ページタイトルの達成基準	55
2.4.3 フォーカス順序の達成基準	57
2.4.4 リンクの目的（コンテキスト内）の達成基準	58
2.4.5 複数の手段の達成基準	59
2.4.6 見出し及びラベルの達成基準	60
2.4.7 フォーカスの可視化の達成基準	60
3.1.1 ページの言語の達成基準	62

○○○○Webサイト Webアクセシビリティガイドライン（作業基準書）

3.1.2	一部分の言語の達成基準	62
3.2.1	フォーカス時の達成基準	64
3.2.2	入力時の達成基準	65
3.2.3	一貫したナビゲーションの達成基準.....	66
3.2.4	一貫した識別性の達成基準	68
3.3.1	エラーの特定の達成基準	71
3.3.2	ラベル又は説明の達成基準	74
3.3.3	エラー修正の提案の達成基準	70
3.3.4	エラー回避（法的、金融及びデータ）の達成基準	71
4.1.1	構文解析の達成基準	72
4.1.2	名前（name）、役割（role）及び値（value）の達成基準	73

はじめに

〇〇〇〇Web サイト Web アクセシビリティガイドライン（作業基準書）（以下、「本ガイドライン」）は、
〇〇〇〇Web サイトの運用フェーズにおいて、Web アクセシビリティを確保し、その品質を一定に保つことを目的として策定されている。

本ガイドラインは、JIS X 8341-3 : 2016 を基に Web サイト運用フェーズにおいて、適合レベル AA での Web アクセシビリティを確保するために必要な留意事項、Web ページ作成ルールを定めたものである。

Web サイトへの変更を加える際、または新規に Web ページを制作する際には本ガイドラインを参考に、アクセシブルな Web サイトを制作する必要がある。外部への Web ページ作成、運用委託時においても、本ガイドラインを基準とした運用が行われるよう努める必要がある。

1. 基本方針

Web アクセシビリティについて理解し、その確保・向上に努めることによって、障がい者、高齢者による閲覧時だけでなく、ユーザーの特性や環境の違いに関わらず、あらゆる条件での情報へのアクセス性を確保することが重要である。

2. 適用範囲

本ガイドラインが対象とする Web サイトは、以下の通りとする。

-
-
-

達成基準別対応方法

1.1.1 非テキストコンテンツの達成基準

利用者に提示される全ての非テキストコンテンツには同等の目的を果たす代替テキストが提供されている。

解説

非テキストコンテンツに代替テキストを提供することで、様々なユーザーエージェントがコンテンツを理解できるようになる。例えば、視覚的にコンテンツを知覚するのが困難なユーザーは、支援技術を通じて代替テキストを音声や点字に変換させることでコンテンツを理解できるようになる。

具体的な達成方法

img 要素については、必ず alt 属性を用いて代替テキストを提供する。代替テキストは画像の内容を具体的に示すものとし、画像がなくても内容がある程度理解できるようにする。また、下記のルールに基づいて付与する。

写真の場合

```
<img src="" alt="写真：海辺に立つ白い家の前に 1 人の初老の男性が年老いた犬と共に立っています。">
```

図版の場合

```
<img src="" alt=" 図：会場入り口の見取り図。入り口を入るとすぐ右手に受付があります。">
```

その他

装飾を目的とし、画像自体に意味を持たない場合は、alt 属性値を空で提供することができる。また、隣接するリンクテキストと重複する場合も同様である。

SVG 画像については title 要素を適切に設定すること。

img 要素以外の置換要素（object 要素、area 要素など）についても、代替テキストを確実に提供すること。

参考

達成基準 1.1.1 を理解する - WCAG 2.0 解説書

<http://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/text-equiv-all.html>

例 1. 短い説明で代替が可能な画像

img 要素には alt 属性を用いて画像の代替となるテキストを記述する

× 不適切な例

img 要素に alt 属性が不足している例



```

```

○ 適切な例

画像と同等の情報が alt 属性の値に指定されている例



```

```

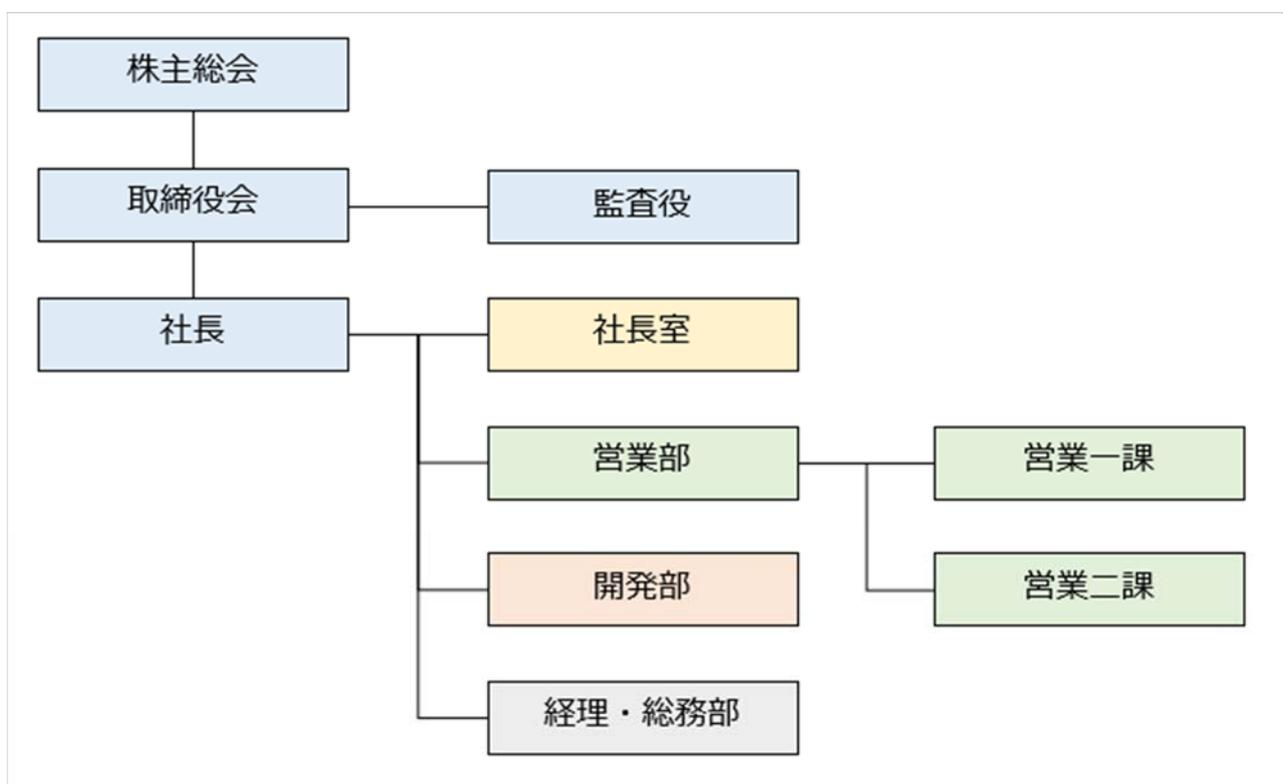
例 2. 複雑な説明が必要な画像

図解説明など内容が複雑で、詳細な代替テキストが必要だと思われるものについては、支援技術が同等の情報を理解できるように実装する。

画像が伝えている内容をテキストに書き起こし alt 属性の値に記載するか、同等の情報を画像の近くにテキストや表（データテーブル）で置いて、画像の alt 属性は空にする。

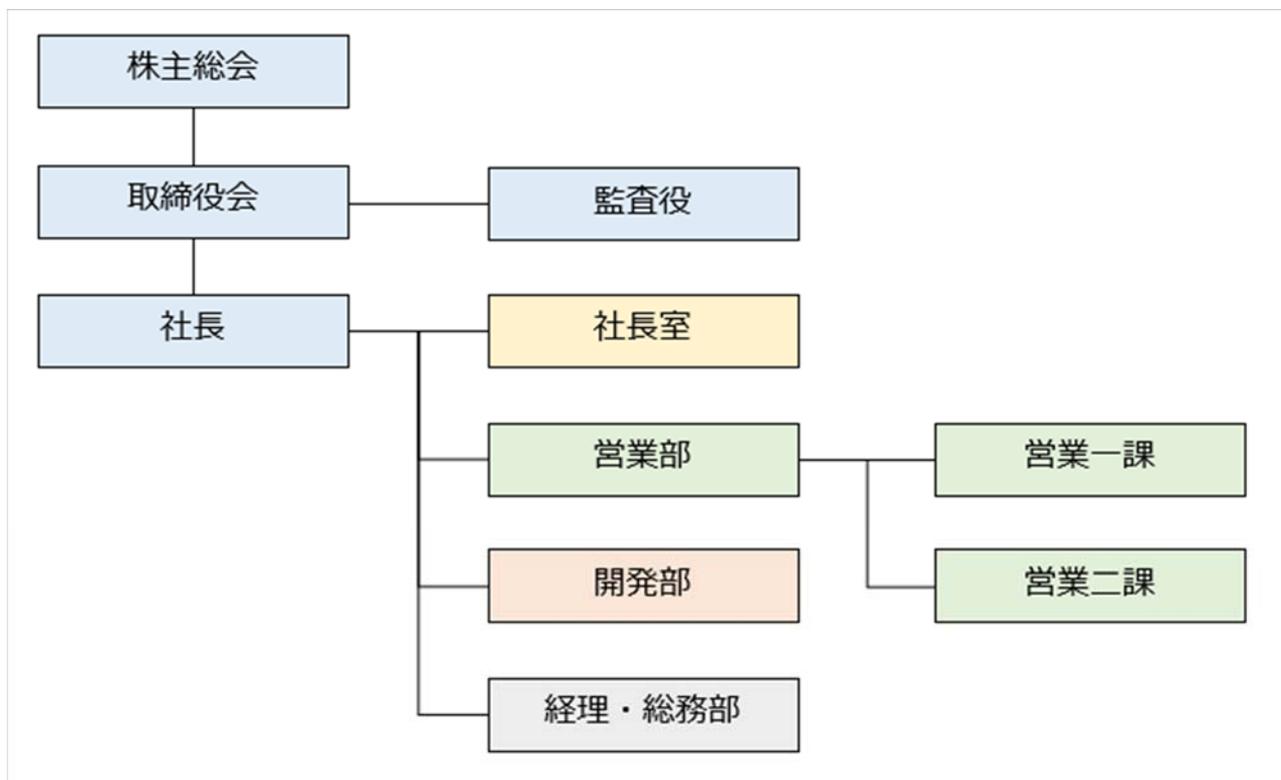
× 不適切な例

代替テキストの内容が不十分なため、画像が伝えている情報が伝わらない例



○ 適切な例

画像が伝えている内容をテキストに書き起こし alt 属性の値に記載した例



例 3. 情報として意味のない画像

画像そのものが意味を持たない、または画像の近くのテキストに画像と同等の情報が記載されている場合、空の alt 属性（alt=""）を指定し、支援技術がその画像を無視できるように実装する

× 不適切な例

装飾画像に「装飾用画像」という不必要な代替テキストが記載されている例



Webアクセシビリティ対応ソリューション

官公庁サイト、大規模サイトにおけるWebアクセシビリティ対応の計画立案から対応作業チーム編成、作業進捗の管理や対応作業の検証、結果報告までワンストップでご提供いたします。

```

```

○ 適切な例

支援技術が装飾画像を無視できるように空の代替テキストを指定している例



Webアクセシビリティ対応ソリューション

官公庁サイト、大規模サイトにおけるWebアクセシビリティ対応の計画立案から対応作業チーム編成、作業進捗の管理や対応作業の検証、結果報告までワンストップでご提供いたします。

```

```